

千葉の改革三本柱と12の突破口

未来をひらく、地域の子育て!

地域と子どもの視点で子育て・教育を支援し、未来をきりひらく力をはぐみます。

- 1. 子どもの笑い声があふれる地域をつくらう
2. 安心して子育てできる環境を
3. 子どもたちの可能性を世界に広げる

日本一をめざす、福祉と環境!

地域住民が主役となって、イキイキと安全・安心に暮らす「新しい地域社会(プレーメン型地域社会)」をつくりま

- 4. 星の数ほど、福祉拠点を
5. 人生百年。みんな元気に暮らせる千葉を
6. 防災・防犯ネットワークづくり
7. 千葉を首都圏のゴミ捨て場にしてはならない

強い千葉経済と、5万人の雇用創出!

世界に通用する強い中小企業・競争力のある農林水産業・魅力あふれる観光地をつくり、大きな雇用を創り出します。

- 8. 地域経済の底ぎからをつける
9. みんながイキイキと働ける千葉を
10. 安全安心な「千葉ブランド」づくり
11. 房総大好き、いやしのリゾート
12. 日本一企業が活動しやすい千葉県へ



「プレーメン型地域社会」とはグリム童話「プレーメンの音楽隊」(ロバ・犬・猫・ニワトリが、自分たちの長をいかして泥棒を退治し、楽しく暮らしたというお話)にヒントを得て、さまざまな人がそれぞれの能力を生かし協力して暮らす地域社会をつくらうという考え方のことです。

21世紀型の行政システムをめざして ~引きつづき行財政改革を断行します~

情報公開を徹底し、行政の透明化を高めます。公共事業は一般競争入札を基本とし、手続きの透明化をはかり、大規模公共事業については外部評価を行います。申請・届出などの簡素化、電子県庁の促進により、サービスの向上をはかります。経費や人員の削減・抑制、県の機関や公社・第三セクターの統廃合・民営化の促進、市町村への権限委譲を行います。新たな財政再建プランを策定し、平成20年までに県財政を立て直します。

未来をひらく、地域の子育て!

1. 子どもの笑い声があふれる地域をつくらう ~子育て県民基金をつくりま

子どもには楽しく安全に育つ権利があります。県民みんなで子育てを応援する「子育て県民会議」を設けます。中小企業にも「子育て支援計画」を作るよう働きかけるとともに、子育て母さん再就職支援センターや児童クラブ・冒険広場などを整備します。地域全体の子育てに取り組みます。



2. 安心して子育てできる環境を ~小児科医倍増計画に着手しま

臨床研修制度をフル活用し、奨学金制度を新設するなどして、小児科医の確保につとめます。また、「周産期母子医療センター」や「地域子育て支援センター」を整備し、子育ての疑問・悩みにすぐに応えられるようにします。

3. 子どもたちの可能性を世界に広げる ~みんなでつくる教育戦略ビジョン

県民参加の「教育戦略ビジョン」をつくり、小規模学級を拡大するなど、確かな学力の向上をはかるとともに、地域による学校運営や。空き教室の地域開放などを進めます。また、私学教育の振興をはかります。もちろん、「学校の評価は地域が行う」ことを徹底します。



柏国際キャンパス構想シンポ

さらに、できるだけ多くの生徒が海外生活を体験できる仕組みをつくるとともに、インターナショナルスクールを誘致するなど、子供たちの可能性を世界に広げる教育県をめざします。



日本一をめざす、福祉と環境!

4. 星の数ほど、福祉拠点を ~誰もが住み慣れた地域で暮らすために

介護保険や支援費制度など、公的サービスの不足やすき間を埋める民間事業拠点を、すべての小学校区に開設できるよう、支援します。この拠点は、高齢者や若年者、女性、障害者などの働き場となり、地域社会を元気にする役割もあります。また、365日・24時間開いている生活支援・相談・権利擁護センターを全市町村に開設することをめざします。障害者雇用を3,000人増やし、障害者差別禁止条例を制定します。

5. 人生百年。みんな元気に暮らせる千葉を ~「元気高齢者100万人・孤独死ゼロ」作戦

一人ひとりに合った健康プランを提供する「千葉県健康づくりふるさと構想」を展開するとともに、高齢者が介護を受けることなく、いつまでも元気でいられるよう、予防施策を充実します。また、救急、がん、循環器などの専門医療体制の強化や、かかりつけ医の普及など、保健医療体制を全面的に見直します。鳥インフルエンザやSARSといった新興感染症などへの対策の徹底や食品安全条例の制定などで、県民を健康被害から守ります。

6. 防災・防犯ネットワークづくり ~都内に「千葉県帰宅困難者支援センター」を設置

災害に強い街づくり・地域社会づくりを推進します。災害時、都内で働く千葉県民が、帰宅情報や安否情報などを得ることができる拠点をつくるなど、また、地域防犯情報センターの設置(都市部200箇所)による防犯体制の強化や、悪質業者対策の強化をはかり、消費者保護を徹底します。県民の協力を得て、交通事故ゼロをめざします。

7. 千葉を首都圏のゴミ捨て場にしてはならない ~産廃・残土の不法投棄を根絶しま

首都圏の廃棄物、硫酸ピッチなどが捨てられることにより、美しい郷土が汚れることを許してはなりません。きびしい態度で立ち向かいます。また、三番瀬の保全・再生や里山条例の活用などにより、自然を守り、次世代に引き継いでいきます。



三番瀬

強い千葉経済と、5万人の雇用創出!

8. 地域経済の底ぎからをつける ~中小企業元気条例の制定

地域社会に根ざした中小企業が活力を持ち、県全体として経済が大きく発展していくように、中小企業融資制度の充実、起業や経営革新の支援、商店街の活性化など、県内中小企業の挑戦を応援する条例を制定します。

9. みんながイキイキと働ける千葉を ~5万人の雇用創出プラン

中小企業支援をはじめ、バイオテクノロジー・IT(情報技術)などの21世紀型産業の育成や立地優遇制度の抜本的拡充など、戦略的な企業誘致を行い、就業チャンスの拡大をはかります。また、企業ニーズに合った職業訓練の実施、きめ細やかな雇用就労サポートにより、千葉県で5万人の雇用を増やします。

10. 安全安心な「千葉ブランド」づくり ~「エコ農産物」生産額日本一

農薬を50%以上減らした「ちばエコ農産物」の生産面積を1万ヘクタールに拡大するとともに、千産千消ネットワーク(電子集出荷場)の整備や「千葉ブランド」の販売協力店の増設(1,000店)など、農林水産物の生産・流通改革を推進します。また、農業への新規参入促進や農地の大規模化などにより、千葉農業の競争力強化をはかります。

11. 房総大好き、いやしのリゾート ~観光立県ちば

無謀な「開発主義」を排し、房総半島ならではの自然や風土を生かし、首都圏民の第二のふるさととして、また、日本で活躍する外国人をひきつける、新しい観光地づくりを進めます。また、国内外に観光プロモーションを展開し、観光客を1.5倍に増やします。

12. 日本一企業が活動しやすい千葉県へ ~新しい産業基盤の充実

千葉県と全国を結び、県内各地の移動をスムーズにする幹線道路網の整備を計画的に進めるとともに、成田空港の早期整備・成田新高速鉄道・北千葉道路など空港アクセスの改善、港湾の整備など、産業基盤の整備を確実に進めていきます。また、特区制度の活用などによって、規制緩和を効果的に実施します。